

ホンダ

サラダCG
こまめF2NO

春の耕耘機ペーンの一環

「ねむせり」の小説で、也理事は「今後、支那の農業の1つとして弁当運動の計画を立てています。そこで野菜栽培をするのを教めました。粘土質の土壤で水は

の販
た無
多品
スタ
澤純
援活
屋を
こで
ため
やや
けが

営業所の異常会議
れると聞き、早
ていき、最大径
止まで粉砕可能
一なチップが作
ラコンKDC-1

速出かけ
に王麗れ
1300" でより均
花屋係長 れる「ア
1300

特に安全面に注意

汎用ポンプ発
費性能も最大10%
はタ
製品の
下(タイポン)は
エンジン汎用
「WB20XT」、
「WT」を一部改
リミテ
売した。

用エンジンを搭載し
ンの生産台数は、
89年の生産開始以
224万台(1991年
013年12月現在)
しており、タイから
各国へ供給を拡大し
る。
内販売計画台数は、
00台。

20回/分、最大吸込揚
度5cm、最大吐出揚
度32cm、吸込、吐出^{（予約）}
^{（予約）}50cm^{（予約）}、
空冷4ストローク单気
筒OHV、総排氣量1
8立方cm、最大出力3
・5馬力、連続運転可能
時間（最大吐出時）約
1・7時間

場では剪定物の粉碎をメインに省力化に貢献しているが、近年では増え続ける竹林の処理など活躍の場を広げている。そうした中、㈱カルイ・山形工業物販町46-1 西吾田工業団地・☎023(645)5710・高橋和成社長の樹木粉碎機を活用し、竹粉を自家過にて散布しての土づくりを行っているNPO法人があると聞き、取材した。

茨城県牛久市のNPO

竹粉で有機農業展開

カルイ 障がい者支援にドラコン活用



アラコン K.D.C.-1300B



竹の粉碎作業の様子

て知られ
る。作業は小
澤理事とホ
ーム利用者
1人の2人
で行われ
た。小澤理
事は「機械
操作は私が
手本初回作業の様子

するノウハウも身
る事で、障がい者
支援にも役立つは
「」と力強く語って
いた。